

平成 30 年 2 月 小竹図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 2 月 23 日（金） 15 時 30 分から 16 時 10 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 小竹図書館指定管理者（ハートフルサポート共同事業体）（以下「小」） 小竹図書館長、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光） 駐車禁止のために設置しているセキュリティコーンが壊された件について →（小） 壊されたところは見えていないので原因はわからないが、新しいものを設置した。</p> <p>（光） 12 条点検で湯沸かし器に溜まる水を定期的に捨てるようにとの話があった。使用していないので撤去したいと聞いたがどのような状況か。 →（小） 指定管理になる前から設置されているもの。全く使っていない湯沸かし器で、水を捨てるのも大変なので撤去したいと考えている。事業等でお湯が必要な場合は、会議室の奥に給湯室があるほか、事務室にも給湯機能があるので問題ない。</p> <p>（光） 自動販売機の設置について利用者から要望はあるか。 →（小） 最近では来館していないが、特定の利用者からの要望はあった。近くにコンビニエンスストアもあり、そこまで需要はないと思うが、あれば夜間の明かりとして助かる。</p> <p>② 一般事業について</p> <p>（光） 12 月にあった「返却資料に強い臭いやしみが付いている利用者」の件について →（小） 過去にも臭いが付いていることがあり、今回はしみもあったため、弁償になる場合もあるので取扱いに注意してほしい旨を伝えたところ激昂され帰られた。その後は、トラブルにはなっていない。</p> <p>（光） 1 月実施の「新春ホンのお楽しみ福袋」について →（小） 一袋に 3 冊セットした福袋を、一般 42 袋、青少年 14 袋、児童 21 袋、乳幼児 9 袋を用意し、手に取りやすいよう、対象別に色分けしたりボンやポップを配置した。結果は、一般 42 袋、青少年 10 袋、児童 20 袋、乳幼児 9 袋が貸し出され、大変好評だった。来年度はシステム更新に伴う臨時休館があるため、時期を変えて実施したいと考えている。</p> <p>（光） 1 月開催の「歴史講座 知られざる江古田の歴史」について →（小） 直前のキャンセルのため定員 30 名のところ参加者 25 名となったが、多くの方の参加をお断りするほど好評だった。練馬区の歴史を長年研究している郷土史家の方を講師に迎え、昔の江古田の写真をスライドで映したり、CD を聞いたりしながら街の変遷をたどった。講師の方の話が面白く、大変好評だったので、また実施したいと考えている。また、町会や地域の歴史を研究している会にも講師を紹介してほしいとの依頼を受け、紹介した。</p>

(光) 1月開催の「ボランティア入門講座」について

→ (小) ボランティアに興味があっても、実際に何をしたらよいかわからない方のための初心者向け講座を行った。前半は練馬区社会福祉協議会の方を講師にボランティアの意義、心構えや注意事項等を説明いただき、後半はボランティア体験として絵本の修理を行った。もし、図書館からボランティアの呼びかけがあった場合に参加してもらえるか聞いたところ、一定数参加したいという方がいたので、来年度から何かできるか考えたい。何かしてもらっただけが目的ではなく、利用者同士の本の情報交換や町の情報交換ができればと思っている。

(光) 1月開催の今回で3期目となる「絵本のよみきかせ講座」について

→ (小) 人数は1期目、2期目と同じくらいの参加があった。3月には実際に保育園で読み聞かせを行う予定。

③ 児童サービス事業について

(光) 12月、1月の学校支援の状況は。

→ (小) 冬休み中の蔵書点検のほか、読書旬間の支援や時間が空いた時に本の整理や修理を行った。また、図書館で「本の福袋」が好評だったことから、何校かで福袋を実施し、生徒や先生にも好評だった。

(光) 家庭での読書推進向上に向けた考えについて

→ (小) 小学校は保護者向けによみきかせ講座を行ったり、親子で同じ本を読んで感想を言い合ったりできると思うが、中学校はなかなか難しい。

(光) 1月開催の「パペットシアター『11ぴきのねこ』」について

→ (小) 日本大学芸術学部 OB の演劇団体の方による「11ぴきのねこ」のパペットシアターを観劇した後、作品に登場させたいパペットを考え、オリジナルパペットを作成した。作成した手作りパペットを使って一人ずつパペットの自己紹介も行った。団体とは、小竹町会主催の「こたけあそび」で知り合い、実施が実現した。様々な所で実施しているので、子供たちの対応も慣れており、参加者に楽しんでもらえた。

(光) 1月開催の「新春かるた大会」について、今年度は小学校低学年の部を新設し、年齢別に実施してみたが、どうだったか。

→ (小) 前回までは未就学児までだったが、年長児から来年も参加したいという要望が多く、小学校低学年の部を設けた。クラスを分けたことで、同年代の子供同士の対戦となり、どの部でもそれほど大差がつくことがなく、いい試合ができた。かるたは図書館で購入したもので、年代に合わせた3種類を使用し、難しい札はあらかじめ抜いておく等配慮した。試合をしていない子供や飽きてしまった子供が自由に読めるよう、会場に絵本の展示も行った。

(光) 2月、3月に計画していた「健康講座」、「文学講座」、「小竹から世界を見る」の実施予定は。

→ (小) 健康講座は講師との調整から4月に延びてしまうかもしれない。文学講座は歴史講座を振り替えて行った。「小竹から世界を見る」も来年度事業となるかもしれないが、今年度の事業数に変わりはなく代わりの事業を実施している。